

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式									
EU41C102		子ども理解・学校生活の実践的開発(Development of practical teaching method for understanding of school-age children and classroom management)					高度専門科目											
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択		2	1	教育学研究科	後期		氏名 吉野敦, 伊藤安浩, 藤田敦, 住岡敏弘, 長谷川祐介, 永田誠, 森下 寛, 向井隆久											
							E-mail ayoshino@oita-u.ac.jp, yasuhito-ito@oita-u.ac.jp, a-fujita@oita-u.ac.jp,											
授業の概要		学級経営に関わる教育学や教育心理学の諸理論, また現代の教育課題を踏まえて, これからの学級経営に求められる新しい実践方法を考案し, その効果や課題について議論する。現実には起こりうる問題(いじめ, 不登校, 学習意欲の低下など)を想定し, 具体的な対応計画を構想し, 予想される成果について理論的に説明するまでの演習を行う。この学習を通して, 新たな問題に直面した際に, 学問的な知見を参照しながら, 創造的に解決法を開発していく力を身につける。																
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 学級経営に関わる教育科学の理論的な知見を踏まえて, 教育の現状や課題を説明することができる											○		○					
目標2 現代の教育課題を解決する実践方法を具体的に構想し, その成果を理論的に予測, 評価することができる。											○			○				
目標3																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 現代の学校における教育課題と教育実践の開発および教育科学の関わりについて																		
2 教育実践(学級経営, 生徒指導)に関する具体事例の検討																		
3 教育実践事例における学級担任の役割の考察																		
4 教育実践事例における連携(チーム, 保護者, 専門機関等)の意義の考察																		
5 教育実践に関連する教育科学の研究知見の探索																		
6 教育実践事例に対する学術的な観点からの考察																		
7 事例研究を踏まえた新たな課題の設定																		
8 研究課題に関する研究資料(実践事例, 学術論文)の探索																		
9 研究資料の整理・分析																		
10 資料分析を踏まえた教育課題に対する新たな対応方針の提案																		
11 具体的な対応策の構想																		
12 研究成果の発表計画の検討																		
13 研究成果の発表内容の再考																		
14 研究成果報告会																		
15 研究活動の「振り返り」と今後の教育実践への応用																		
ラック ニ ン グ		A: 知識の定着・確認		B: 意見の表現・交換		C: 応用志向		D: 知識の活用・創造		グループワーク, フィールドワーク等を行う場合があります。		工夫 その 他の						
時間外学修 の内容と時 間の目安		準備 学修		文献資料の収集・整理(10h)		発表準備(10h)		事後 学修		レポート作成(15h)								
教科書		教科書は指定しない。																
参考書		各学校種の「学習指導要領」や「幼稚園教育要領」「生徒指導提要」の他、学修者の興味関心に応じて担当教員より具体的な指示がある。																
成績 評 価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法					割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10		
	小レポート					30%	○	○										
	グループディスカッション					15%	○	○										
	研究成果発表会のパフォーマンス					20%	○	○										
	最終レポート					35%	○	○										
注意事項																		
備考																		
リンク																		
		URL																